



真宗大谷派【東本願寺】光西寺 発行

雲仙市愛野町甲 271

☎ 0957-36-0103

お寺のホームページ  
アクセスお待ちしております！



『報恩講』 金子みすゞ

お番の晩は雪のころ  
雪はなくても暗のころ

くらい夜みちをお寺へつけば

とても大きな蠟燭と

とても大きなお火鉢で

明るい、明るい、あたたかい

大人はしつとりお話で

子どもは騒いじや叱られる

だけど、明るくにぎやかで

友だちやみんなよっていて

なにかしないじやいられない

更けてお家へ帰っても

なにかうれしい、ねられない

お番の晩は夜なかでも

からころ足駄の音がする。

金子みすゞの詩を生んだものは仏教的な土壌です。山口県長門市仙崎の出身ですが、ここは浄土真宗の教え、お念仏の教えが生活に根付いたかたちで伝承されていた場所のようです。仙崎は捕鯨の町。実際に鯨を殺すことを生業にした人びとは、「殺」の罪を身を持って知っておられました。また、命懸けで鯨と戦う日常の中で、死すべき生を生きる身を体感されていたことでしょう。まさに自らの生活を通してお念仏をいただいていた人びとの町で、金子みすゞは生まれたのです。

2月の御命日定例は、例年のごとく「お内仏報恩講」としてお勤めいたしますので、どうぞ、お参りください。

宗祖親鸞聖人御命日「お内仏報恩講」ごあんない

2023年2月28日(火) 午前9時30分から12時まで  
夜8時から9時30分まで

●▲■●▲■おてらまいろはココロのストレッチ！●▲■●▲■